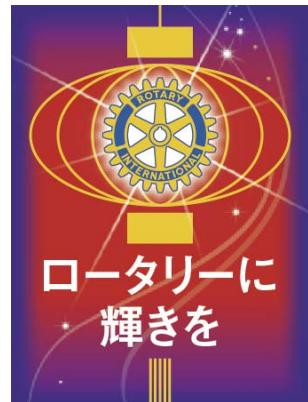




31 創立 1984.7.10／認証 1984.8.6
国際ロータリー第2660地区
大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒534-0026 大阪市都島区網島町9番10号 大閻園内
電話：06-6357-8171 ファックス：06-6357-8011
例会日：毎週火曜日 12時30分／例会場：大閻園
会長：水間 賴孝／幹事：井上 修一／SAA：山本 隆一
電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp
ホームページ：<http://rc-osaka-tsurumi.jp/>



本日の例会

〈第1445回〉 2014年10月28日(火) 本年度第16回

卓話

30周年実行委員会 全体会議

■ロータリーソング ■ランチタイムミュージック
それでこそロータリー

次回の例会

11月1日(土)

次回卓話

創立30周年記念式典・祝宴

前回の報告

会長インフォメーション <PRESIDENT INFORMATION>

会長：水間頼孝

先週の土曜日、地区第6組のIMが開催されました。ご参加いただいた皆さん、有難うございました。

明治天皇の玄孫としてテレビ、ラジオで大活躍の竹田恒泰さんの「いっしょに学ぼう 日本の心」というテーマでの講演がありました。大災害が発生したとき多くの国では略奪、襲撃が行なわれているのに、日本では東日本大震災の被災者の方々が礼節を忘れず譲り合いながら冷静に行動した姿に世界中が驚き絶賛した訳ですが、そういう行動ができる日本人の心とは一体どこからきているのだろうという話の端緒でした。日本人と日本人以外の国民とのさまざまな基本的なものの考え方の違いなどを分かりやすくまた面白くお話をされ、あっという間に2時間が過ぎました。日本人であることに誇りを持たせてくれた有意義な2時間でした。

しかしそれ以上に私が驚いたのは、氏のお話の能力でした。実に2時間、一滴の水を飲むこともなく氏特

有の早口でとうとうと自説を展開されるのですが、しかし聴衆を全く飽きさせずに爆笑させながら引っ張っていました。抜群な話し方のテクニックでした。まるで綾小路きみまろの舞台を見ているようでした。

この竹田さんの講演のあと、第6組11クラブの3分間の活動事例紹介が行なわれました。当初は幹事と二人で「30周年のこんな忙しいときに何言うてくんねん」と怒っていたのですが、見てみるとこれが結構面白くて、他クラブのさまざまな活動を知る以外に紹介する会員の個性にも笑いを誘われました。私どものクラブでは山崎会員が井上勘兵衛殿の基本原稿をもとに30周年記念事業を中心に紹介してくださり、私の見たところ他クラブより頭一つ抜けていたと感じました。

ところで正直なことを申せば、私は会長になるまではこういう地区的行事には各クラブ会員紹介のときに立ち上がり手を上げるときまでしか居らず、それが済めば帰っていたのですが、最後までおるのもなかなかええもんやなと思いました。いつも早く帰っていた私から言われるのもなんやと思われるでしょうが、もし時間が許せば皆さんも出席され最後までおられたら如何でしょうか。

職業奉仕月間および米山月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ「全会員の力で30周年記念事業を成功させよう」

幹事報告

幹事:井上修一

10月28日(火) 30周年実行委員会全体会議

ロータリ財団委員会報告

委員長:中村浩一

来月11月はロータリー財団月間になります。今年の当クラブ財団委員会の目標はお一人160ドルに設定しております。11月1日当クラブの創立30周年記念式典の日に財団委員長会議があります。出席して参ります。財団の趣旨をご理解いただき何卒ご協力を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

カイツブリ会

部長:津野友邦

10月15日水曜日に伏尾ゴルフ倶楽部にてカイツブリ会が行われました。

今回は参加人数は若干少なめでしたが、天氣にも恵まれ楽しくプレーすることができました。

優勝は初参加の高木会員でした。おめでとうございました！

次回は来年4月ごろを予定しております。

NIKONIKO箱

¥21,000.- 累計 ¥430,000.-

山本(良)会員 本日卓話の担当です。講師を谷会員にお願いしました。宜しくお願いします。

高木会員 先日のカイツブリ会では楽しくプレイさせて頂きました。スコアはボロボロでしたが、ビギナーズラックで優勝させていただきました。

笹野会員 本日休んだら首でした。何とか来ました。でも、早退します。すみません！！

木村会員 急用にてIM6組欠席しました。申し訳ありません。

前回の出席報告

(10月21日 1444例会)

会員数	31名	ビジター	3名
(内出席規定免除 9名)		ゲスト	0名
出席会員	22名中 21名	出席総数	31名
出席免除会員	9名中 7名	前々回 10/7 M/U	2名
出席率	28/29 96.55%	修正出席率	77.78%

卓話

平成26年10月5日の意義とは

—国津神と天津神の和解—

講師:谷 康平 会員

担当:山本(良)会員

平成26年10月5日、出雲大社権宮司 千家国麿氏(41歳)と、第124代昭和天皇の弟にあたる三笠宮崇仁殿下(98歳)の孫である高円宮典子女王(26歳)が、同大社拝殿で、結婚式を執り行いました。

「世界有数の多民族国家」(三笠宮様のお言葉)日本の2大潮流と言われる出雲系=国津神系=スサノオ・ニギハヤヒ系と伊勢系=天津神系=アマテラス・ニニギ系の御婚姻は我々庶民が「ひつつく」のとは、意味が違います。

昨年、伊勢神宮が20年に一度の式年遷宮がありました。昨年は出雲大社にとっても60年に一度の遷宮の年で、あたかも偶然を装ってましたが、これが今年へのプレリュードであったのです。

又、10月8日、東京のホテル・ニューオータニでお二人を祝う会が催され、皇族を中心に約60名が集いました。

問題は、この会を仕切られたのが、皇太子殿下御夫婦だった事です。

前述の如く、日本の2大潮流が一つになる重要な出来事をお2人が中心になって開催されたのですから、日本の皇族は今後やはり、皇太子徳仁殿下・雅子妃殿下を中心となる事を示唆しているようです。

いずれにせよ、大地震・火山の噴火そしてエボラ出血熱が世界を、日本を震撼させつつある今日、バイブルの一節を思い出さずにはいられないですし、その雑事の日本が一本化された事は、非常に意義深い出来事ではないでしょうか。

「あなた方の見ているこれらの物について言えば、石が崩されずに積まれたまま残ることのない日がやって来ます。」

「戦争や暴動の事を聞いてもこわがってはいけません。それは初めに必ず起こることです。」

「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、大地震があり、方々に疫病や飢饉が起り、恐ろしいことや天からのすさまじい前兆が現れます。」

(ルカの福音書21章6節~11節)

お知らせ

担当：秀島会員

『ユヌス教授のソーシャル・ビジネス まんが版』が土屋書店（株式会社 滋慶出版）から10月31日に上梓されます。

当クラブの30周年記念イベントでもおなじみの、原丈二氏も取り組んでおられる活動であり、会員の皆様に是非読んで頂けたらと思いお知らせします。

現在この本の英語版が作成されており、11月にメキシコで開催される「ユヌス グローバルソーシャルビジネスサミット」（5000人規模）で国際的にお披露目されます。

また、今後は英語版が欧米で出版されるほか、スペイン語およびアジア各国の言語に翻訳され、国際出版される予定です。

以下、前書きを掲載いたします。

はじめに

本書は、マイクロ・クレジットという少額融資を通して、母国バングラデシュの貧しき女性たちを、経済的にも、人間的にも自立へ導き、二〇〇六年にノーベル平和賞を受賞したムhammad・ユヌス博士の偉業を取り上げたものである。

ユヌス氏は現在なお、自國はもとより世界各地で社会的貧困からの救済事業を次から次へと力強く展開している。本書では、彼が着手し発展させてきた「ソーシャル・ビジネス」の歴史と現在を、その誕生から今日に至るまでの壮大な社会実験として光をあてた。

この出版は、「ソーシャル・ビジネス」の日本での普及に独自のメソッドで挑んでいく九州大学ユヌス＆椎木ソーサル・ビジネス研究センター／グラミン・クリエイティブ・ラボ@九州大学と、“社会貢献事業としての職業教育”をミッションとする滋慶学園による共同研究の一環として生まれた。若者文化の象徴としてのマンガという世界共通言語を表現手段にしたのは、ひとえにユヌス・プロジェクトが目指す普遍性、をより多くの人々に広めたいがゆえである。

シャル・ビジネス研究センター／グラミン・クリエイティブ・ラボ@九州大学と、“社会貢献事業としての職業教育”をミッションとする滋慶学園による共同研究の一環として生まれた。若者文化の象徴としてのマンガという世界共通言語を表現手段にしたのは、ひとえにユヌス・プロジェクトが目指す普遍性、をより多くの人々に広めたいがゆえである。

本書を通して一人でも多くの若者に、「ソーシャル・ビジネス」への理解と共鳴、そして行動を得ることができれば嬉しい。貧困や他の社会環境的困難・脅威からの解放、この事業を、慈善事業やボランティアとしてではなく、あくまでもビジネスとして実現し継続していくというユヌス氏のプロジェクトが、地域社会や国々の壁や課題を超えて、いかに展開されてきたのか。また、それが事業の担い手であるべき各国の若者の関心と情熱にいかに結びついてきたのか。この重要なプロセスが、“まんが”によって忠実に分かりやすく再現されているはずだ。さらに広く深く、「ソーシャル・ビジネス」への理解と参加へのエネルギーに転換していってほしいものである。

世界はいま、どのような状況にあり、何が必要なのか。「その課題と解決を担うのはキミたち若い世代の熱意と行動力だ」というユヌス氏の心からのメッセージが、より多くの読者の胸に届くことを願う。

平成二十六年 錦秋の頃

『ユヌス教授のソーシャル・ビジネス まんが版』制作委員会

**貧困や社会環境的困難・脅威からの解放を、ビジネスとして実現・継続する
ソーシャル・ビジネス の次の担い手となる若者たちへ!**

**10月下旬
刊行**

**世界を
変えたい!**

**「世界を変えたい!」
現代の若者へ贈るメッセージ**

**ユヌス教授の
ソーシャル・
ビジネス**

まんが版

著者 加来 耕三
原作 早川 大介
監修 すぎたとおる

CONTENTS

第1章 少年時代
第2章 アメリカ留学
第3章 夢の種をまく
第4章 グラミンに行く
第5章 160の決意と
ソーシャル・ビジネス
第6章 ソーシャル・ビジネスの展開
第7章 若者よ 時は今だ

**ユヌス教授の
ソーシャル・ビジネス**

ユヌス教授のソーシャル・ビジネス制作委員会編

【企画・構成】加来耕三
歴史家・作家。1958年大阪市生まれ。1981年奈良大学文学部歴史学科卒業。主な著書に『日本の歴史』(じぶんし)『世界の歴史』(せかいし)『世界の歴史』(せかいし)など。
『西郷・明治の英傑たち』(ともに土屋書店)、『うわさの日本史』(NHK出版)など。

【原作】すぎたとおる
漫画家・イラストレーター。1977年静岡県生まれ。1999年東京コミックショート部門学校卒業。東京藝術大学美術系漫画専攻科卒業。主な作品に『ミッキー』『日本の歴史シリーズ』(講談社)など。

【作画】早川大介
漫画家。イラストレーター。1977年静岡県生まれ。1999年東京コミックショート部門学校卒業。東京藝術大学美術系漫画専攻科卒業。主な作品に『ミッキー』『日本の歴史シリーズ』(講談社)など。

【体裁】A5判 並製 128頁 1C 定価980円+税

土屋書店 渋谷区神宮前3-42-11 <http://tuchiyago.co.jp> TEL.03-5775-4471 FAX.03-3479-2737

担当：濃添会員



www.rotary.info

ROTARY

121万の
ボランティア会員
世界200カ国

ロータリーソング

四のテスト

言行はこれに照らしてから

真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

R-O-T-A-R-Y

R-O-T-A-R-Y,
That spells ROTARY,
R-O-T-A-R-Y is known on Land and Sea.
From North to South, from East to West
They profit most, Who serve the Best
R-O-T-A-R-Y,
That spells ROTARY

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御國に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永遠に榮えよ 我等のロータリー

我らの生業

我等の生業さまざまなれど
集いて図る心は一つ
求むるところは平和親睦
力むるところは向上奉仕
お、ロータリアン 我等の集い

限りなき道ロータリー

奉仕の理想 胸に秘め
友情花と咲かせつつ
生きよう今日も ニコニコと
一筋の道 ロータリー
限りなき道 ロータリー

それでこそロータリー

どこで合っても やあと言おうよ
見つけた時にや おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー

町に灯(ともしび)を

出会いの挨拶してごらん
並木さらさら葉から葉へ
人にやさしい町の風
ロータリー ロータリー
廻って 守れ 風車になって
地球がきれいな息をする

われらがロータリー

「聞こえるかい 熱い心の高鳴りが」
夢を世代に受け継いで
今日も明日もその先も
胸いっぱいに友情深め
肩組んで 謳おう
われらが ロータリー